

清友

No.150

2022年2月
(2022年2月1日発行)

東京清掃労働組合退職者会

〒102-0072 千代田区飯田橋3-9-3 SKプラザ5F

TEL 03 (3237) 9995 FAX 03 (3237) 4541



「まつだ桜まつり」
(神奈川県松田町)

「2・10 演芸を楽しむ会」3・15 学習交流会「3・29 お花見」実施の方向で準備

コロナの感染が猛烈に増加しています。1月に予定していた「新春の集い」は、感染リスクを考慮して中止しました。



現在、コロナはほぼオミクロン株に入れ替わっています。感染力が強い代わりに重症化しにくいといわれていますが、高齢者のリスクは高く、まだ普通のインフルエンザ並みとは言えないようです。

2月と3月に予定している行事は、このオミクロン株の特徴も考慮しつつ開催の是非を判断することにします。

コロナがピークアウトなら「演芸を楽しむ会」を開催

2月10日開催予定の「演芸を楽しむ会」会場の「国立演芸場」は、飲食制限を行い、入場者数を通常の定員より減らして公演を継続しています。現在のコロナの感染状況を

踏まえると、かなり厳しいと思います。ピークアウトすれば開催したいと考えています。参加申込みされた方には、個別に判断内容を連絡します。



「学習交流会」はコロナの状況により開催方法を変更

3月15日の「学習交流会」は、コロナの状況により開催方法を変えます。「緊急事態宣言」が出れば中止します。ピークアウトしていれば開催しますが、感染状況によっては懇親会を行いません。収まってくれば懇親会も含めた形態で開

催します。

「学習会」のテーマは「福島」の現状と処理水海洋放出の問題点。参加申込みは3月8日頃までに連絡いただければ大丈夫です。



「お花見ウォーキング」はコロナの沈静化が開催条件

コロナで2年も開催できなかった「お花見（桜満開の小金井公園散策と車座で一杯）」を3月29日に開催します。

宴会ですから、コロナが落ち着いていなければ困難ですが、その頃になれば開催可能になるものと期待して、参加申込み受付を始めました。3月15日頃までに連絡ください。

ただし、小金井公園併設の「江戸東京たてもの園」は休園中で、再開してもネット予約方式になると想定され、入園は難しいのではないかと思います。



満開の桜が待ちどおしいですね。

22年度年金額は0.4%引下げ

マクロ経済スライド調整は、前年分を加えた0.3%減を来年度以降に積み残し

厚生労働省は、1月21日、22年度の年金額を「0.4%引き下げる」と発表しました。厚生年金は、新規裁定者・夫婦二人の標準例で月額903円引下げになります。

賃金水準減で年金額も減に

総務省が公表した「21年度全国消費者物価指数」はマイ

ナス0.2%でした。一方、「名目手取り賃金変動率」（過去3年の実質賃金変動率△0.2%+前年の物価変動率△0.2%+可処分所得割合変化率0%）はマイナス0.4%でした。

年金額の改定ルールでは、物価指数・賃金変動率ともにマイナスで賃金変動率の方がマイナス幅が大きい場合、新

「マクロ経済スライド」とは

「現役の年金被保険者増減」と「平均余命の伸び」に基づきスライド調整率を設定し、年金改定率から控除する仕組み。

●22年度指数

* 公的年金被保険者数の変動率（0.1%、2018～20年度平均）+平均余命の伸び率（△0.3%、定率）=スライド調整率（△0.2%）+昨年の繰越分△0.1% ⇒調整率マイナス0.3%

●デフレ時の適用

* 年金改定率がゼロ以下の場合にはマクロスライド調整率の引き下げを行わず、次年度以降に積み残し（キャリアオーバー）される仕組みになっている。
* 昨年に続き今年も積み残しが適用される。「マクロ経済スライド」による2年分のマイナス0.3%は、来年以降の年金額がプラス改定になった時期に調整（引上げ抑制）される。

規裁定者（67歳以下）は賃金変動率適用、既裁定者（68歳以上）は物価指数が適用されていましたが、昨年からは既裁定者も賃金変動率が適用されることになったため、すべての年金受給者が0.4%引き下げられることになります。

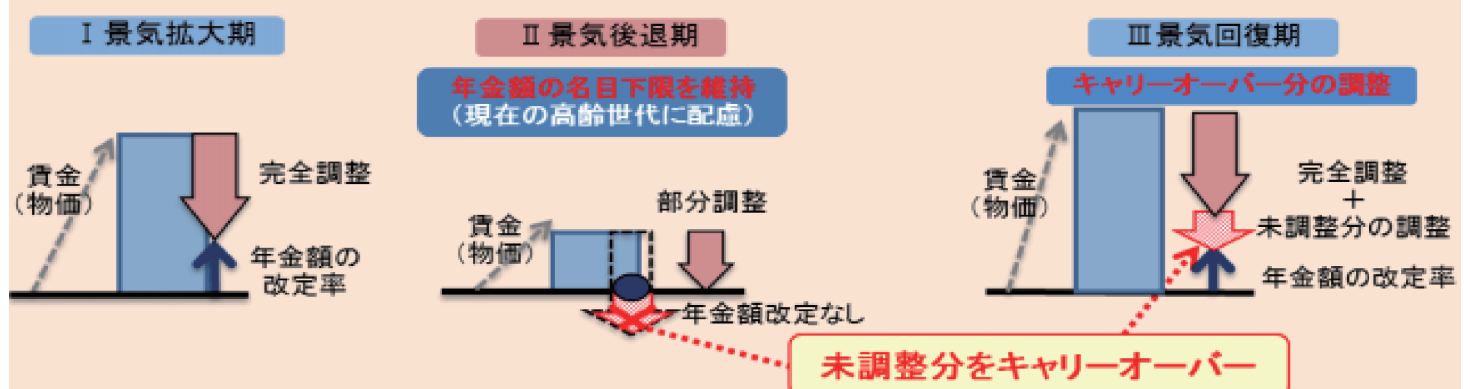
コロナの影響？雇用数減少

マクロ経済スライド調整率はマイナス0.2%でした。ただし、年金額が引き下げになるため、来年以降に積み残しになります。昨年も積み残しになっており、その分0.1%を加えた合計の繰り越しはマイナス0.3%です。

マクロ経済スライドは、雇用者数が増えればマイナス幅は抑制できます。22年度指数の公的年金被保険者数の伸び（3年平均）は昨年より鈍化しました。コロナによる雇用減少の影響が開始めたとみられ、来年以降が危惧されます。マクロ経済スライドは早期に廃止すべきです。

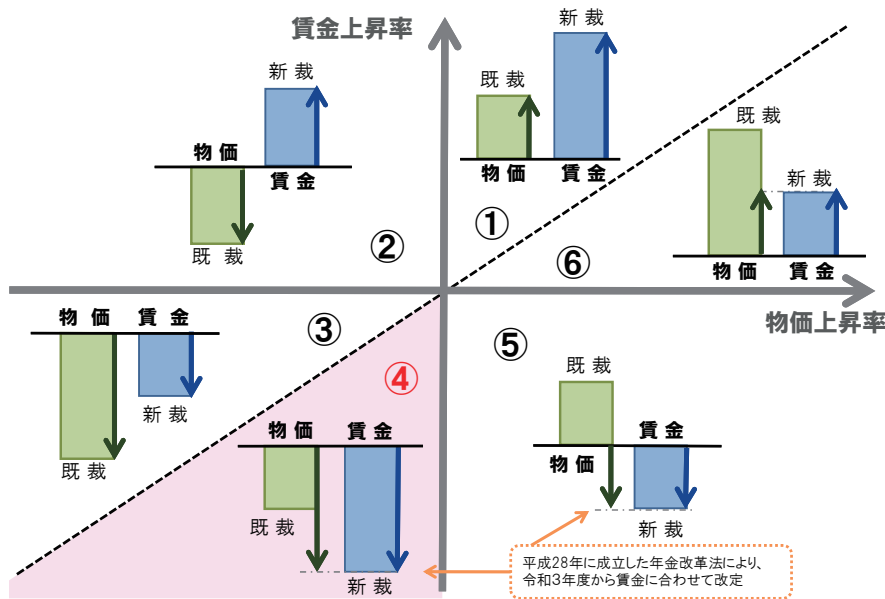
■マクロ経済スライドによる調整ルールの見直し（2018年4月より適用）

景気回復局面においてキャリアオーバー分を早期に調整（高齢者の年金の名目下限は維持）



■年金額改定ルール(賃金・物価スライド)

※2021年4月より見直し適用



※年金額改定ルールは、賃金と物価の変動に応じて6つのパターンで構成されています。年金生活者の生活は物価に左右されますから、本来は、物価指数準拠にすべきですが、「少子高齢化」対策を理由に昨年からは賃金変動率が物価指数を下回った場合は、既裁定者も賃金変動率が適用されることとなりました。※これにより、22年度のケースでは④が適用されました。

▼在職老齢年金の支給停止調整額は22年4月から64歳以下も47万円に

働きながら年金を受給する「在職老齢年金」は、賃金と年金の合計月額が64歳以下は28万円、65歳以上は47万円を上回ると年金支給額が抑制されます。20年の法改正で、この支給停止調整(開始)額が、22年4月から64歳以下も65歳以上と同じ47万円になります。

あわせて、64歳以下に適用されていた、賃金が支給停止調整変動額(47万円)を上回る場合、増加した分だけ年金支給額を停止する仕組みも廃止され、在職老齢年金制度は一本化されました。再任用組合員(準会員)にとつては朗報ですね。

人生百年時代へ健康寿命の維持を

「最近、動悸がする」「体が重く感じる」「手足がしびれる」「ふらつく」「医者がよこす薬は、本当に必要なのだろうか」など、体調不安や医療に対する疑問をお持ちの方も多いと思います。そういうときにみなさんはどうしていますか。

健康や医療に関する相談を気軽にできるようにするため、東京清掃は毎月一回健康相談を行っています。対応する方は東京清掃顧問医の平野先生

機関紙が150号に

今月号で機関紙「清友」が150号になりました。

2009年5月に1号を発行してから12年10月、当初のプランでは2月に1回程度を想定していましたが、はじめからほぼ毎月発行になり、10年以上にわたって完全月刊態勢を維持しています。

全国の自治労系退職者会の中でも、機関紙を毎月発行しているのは数団体しかないとい

(亀戸ひまわり診療所理事長)、相談料はもちろん無料、毎月第4水曜日午後4時からです。

退職者会の会員は、この健康相談を活用することができます。今月の健康相談は2月25日(今年の2月は水曜日が休日なので特例)です。

申込みは、退職者会の戸枝事務局 長宛 090-8681-8221 連絡してください。

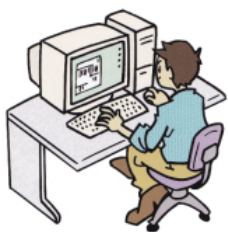
法律相談も毎月行われています。こちらも会員は活用できます。



のこです。

これまで続けてこられたのは、会員の皆さんの会の行事に対する協力と、多くの方から寄せられる読後の感想などに後押しされてきたからです。ご協力に深く感謝します。

ところで、編集子も目がかすみ、耳も遠くなるなど、どうやらヨタヘ口期に入ったようです。後継者探しが急務ですね。



狭山第3次再審と鳥取ループ裁判の勝利へ

狭山東京実行委員会第27回定期総会

12月20日に田町・交通ビルで行なわれた狭山東京実行委員会の総会に自治退都本部として参加しました。

各地で創意工夫した闘いが

依然として収まらないコロナ禍により多くの活動が制約を受ける中、創意工夫しながら各地で狭山第3次再審請求闘争が続けられています。

そうした闘いの中心部隊として活動する狭山東京実行委員会の活動の総括と、間近に迫っている決戦時期への意思統一を図る大事な総会でした。

桐田事務局長（東京清掃元委員長）が総会議案を提案。コロナによる厳しい状況の中で、2月の狭山東京集会や5月の中央集会などは中止を余儀なくされましたが、10月29日の狭山中央集会が2年ぶりに開催されて石川一雄さん・早智子さんの元気あふれる声が響き渡ったこと、石川さんが不当逮捕された5月23日に

ちなむ23デー

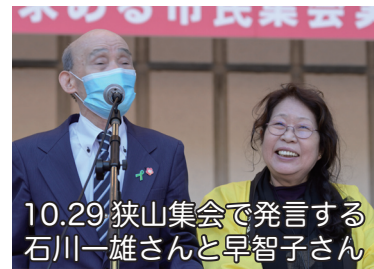
行動は、江東や北部・練馬に続き、墨田や荒川でも取り組みが活発に行なわれ、各地域での狭山集会や都連女性部による高裁前スタンディング行動、清掃・人権交流会の狭山現地調査、ビデオメッセージ活用等

創意工夫した取り組みが展開されたことが報告されました。

第三次再審の扉を開かせるために、東京高裁要請ハガキ行動などの強化が呼びかけられ、2月28日に台東区民会館で開かれる「狭山事件の再審を求める東京集会」に結集しようと呼びかけられました。会場からの発言では墨田解放共闘と清掃退職者会より、それぞれの活動報告がされました。

狭山事件の再審をかちとろう

第2部の学習講演会では狭



10.29狭山集会で発言する石川一雄さんと早智子さん

山弁護団の河村健夫弁護士が登壇。「狭山第3次再審請求の現状と課題」についてみっちり1時間講演してくれました。

弁護団の決定的な科学鑑定により石川さんを有罪とした証拠がごとく否定されているのに対し、検察は「反論」というにはお粗末な意見書しか出していません。その最重要証拠をめぐるやり取りも、まもなく出し終える状況にあり、いよいよ弁護団から事実調べ・証人尋問を求める段階にきています。今春が山場であることは間違いありません。高裁に事実調べと再審開始を決断させるために、何としても世論を盛り上げる必要があります。要請ハガキも大きな意義があると強調されました。

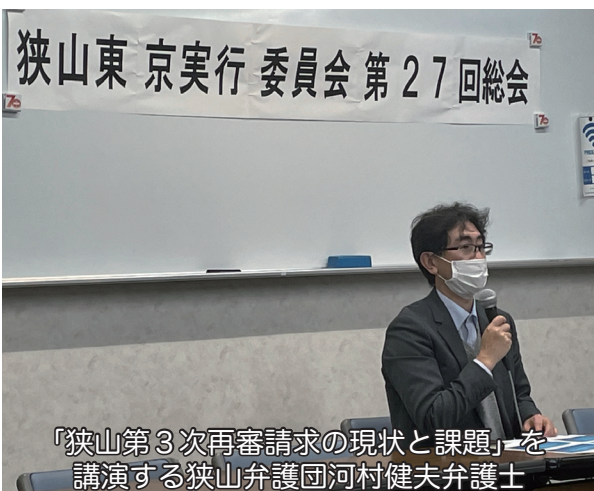
あらゆる差別をなくす闘いを

講演の後半では、「鳥取ループ裁判」の東京地裁判決について話されました。昨年9月の判決では『復刻版全国部落調査』の出版とインターネットでの『部落解放同盟関係人物一覧』拡散は違法として差し止めを認めました。部落解

放同盟の勝訴です。

しかし、個人の狭いプライバシー権侵害を根拠にしたため、原告が強く求めた「差別されない権利」や「人格権」を無視し、部落差別の実情も把握していないなど、問題点の多い判決でした。原告は直ちに控訴、舞台は東京高裁に移っています。この裁判も部落差別だけでなくあらゆる差別を許さない立場から、極めて重要です。弁護団も全力を挙げることを強調されました。

狭山第3次再審と鳥取ループ裁判に勝利するため、私たちもあらゆる力を結集し闘っていきましょう。（押田五郎）



「狭山第3次再審請求の現状と課題」を講演する狭山弁護団河村健夫弁護士

敵基地攻撃能力不要！戦争する国にさせない！

1月17日に通常国会が始まり、「敵基地攻撃能力」が重要な論戦課題になる中、1月の「19日行動」が国会議員会館前で行われました。

岸田首相の二枚舌を許さず 岸田改憲を阻止しよう！

主催者は、「岸田は敵基地攻撃能力の検討に言及し、改憲論議を進めると表明した」「岸田改憲を市民運動の力で阻止しよう」と訴え、立憲野党から、「岸田首相は敵基地攻撃は全面戦争を招くとの認識を示しながら、軍拡を進めようとしている」「沖縄や岩国のコロナは

米軍基地由来で、日米地位協定が問題だ」と指摘しました。

女性の権利が疎かな社会を 希望の持てる社会へ変えよう

『市民連合』は、「女性や子どもの自殺が増えている。生活を心配しないですむ社会、明日に希望が持てる社会へ、政治を変えよう」と、『女性による女性のための相談会』は、「年末年始に行った相談会では生活の底が抜けているような相談が目立った。健保に入らず医療も受けられない人が多い。女性が元々抱えていた問題がコロナで顕在化した。女性の人権が疎かにされている」と訴えました。



『藤沢9条の会』は「構成員の高齢化」に言及し、「若い人に憲法の大事さを伝えたい」と話されました。寒い中でも元気があふれています。

逃げるな出てこい！サンケン電気 闘いはこれから

「逃げるな、出てこい！サンケン電気1・25集会」が、1月25日、池袋のとしま産業振興プラザで開催され、150人を超える仲間が集まりました。

卑劣なサンケンを許さない！

サンケン電気は地元で愛される優良企業でしたが、韓国へ進出し優遇措置を受けて成長し、グローバル企業になるや、韓国からの撤退・インドネシア進出を目論み、労組を忌避して事業閉鎖や解雇を仕掛けました。韓国サンケン労組は日本への遠征闘争で一度は勝利しましたが、コロナで来日が困難な状況に乗じて、一方的に企業閉鎖・全員解雇が通告され、第二次サンケン闘争が始まりました。

日韓連帯の力で勝利を！

集会冒頭、昨年5月10日にサンケン電気本社前で不当逮捕、長期勾留されて12月末に釈放されたばかりの尾澤孝司さんが登壇し、支援に対するお礼のあいさつをされました。



続いて、闘いの報告とともに「闘いの記録」が上映され、ネットでは結ばれた韓国現地から闘うアピールが届けられました。連帯のリレートークでは、東京清掃がビデオメッセージで参加、「連帯し闘う」ことを表明しました。

韓国サンケン闘争は、日本の労働運動に元気をもたらしてきました。悪らつな資本・警察権力の弾圧を許さず、勝利するまで闘いましょう。

長期勾留に抗し闘った
尾澤孝司さん

東京清掃 2022 団結旗開き



会会長の4氏による来賓あいさつに続き、自治労組織内の参議院議員岸まきこさんから「組織内議員の活動と国会情勢」を題とする講演を受けました。

鬼木さんの必勝を！

岸さんは、「岸田内閣はヌラリクラリして何もやらず、

東京清掃の「22新春団結旗開き」が、1月20日に連合会館で開催されました。

集会形式により開催

コロナ禍により、昨年の旗開きは中止を余儀なくされましたが、今年は、「労働組合としてコロナ禍を乗り越え、東京清掃のさらなる運動の前進を図る」という位置付けのもと、集会形式で行われました。

江森東京清掃委員長の主催者あいさつ、染自治労都本部委員長、小宮山特区連書記長、渡邊全労協議長、庄司退職者

の民間委託により、災害復旧などに支障が生じている。安全対策など公務員の職場環境改善は住民のための公共サービス拡充につながる」と国会と現場の共闘の重要性を強調し、7月の参議院選挙では自治労組織内候補の「鬼木まこと」さんの必勝を訴えました。国の官僚は議員の獲得票数に注視しているそうです。

今度、再任用を終る仲間のみなさん

退職者会に残っていただけませんか

「退職者会」は主にこんな活動をやっていきます

高齢者・退職者の生活は、年金・医療・健康保険・介護保険等の社会保障制度により支えられています。これらの制度を決める政府と交渉したり、政府の諮問会議等に声を反映できる唯一の退職者組織が「退職者会」です。

生活を支えている社会保障制度は平和でなければ維持できません。だから、平和を希求する運動・活動に参加することは、私たち自身の問題で

す。子・孫の世代に平和な社会を残すことも大事です。

社会保障のレベルは、労働者の賃金水準などにより大きく影響されます。「退職者会」は、労働組合のOB会として、現役組織の「応援団」です。

ほぼ毎月1回親睦行事開催
正会員になってください

会員の親睦を深める活動を猛暑期を除きほぼ毎月行っています。親睦旅行、ウォーキング、お花見、新年会、懇親会、落語鑑賞会などです。

再任用のみなさんは、これ



まで退職者会の準会員でした。再任用が終了した後は、改めて正会員へ手続きをとっていただく必要があります。どうぞ、退職者会に残っていただきたいと思います。